

一般国道1号

北勢ほくせいバイパス

(道路事業)

説明資料

平成29年7月28日

中部地方整備局
北勢国道事務所

目 次

1. 一般国道1号北勢^{ほくせい}バイパスの事業概要	
(1)事業目的	P 1
(2)計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	P 3
①交通渋滞の緩和	P 3
②地域経済活性化の支援	P 3
③災害に強い道路機能の確保	P 3
④ストック効果事例:地域企業の産業活動を支援	P 4
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 5
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 5
5. 対応方針(原案)	P 5

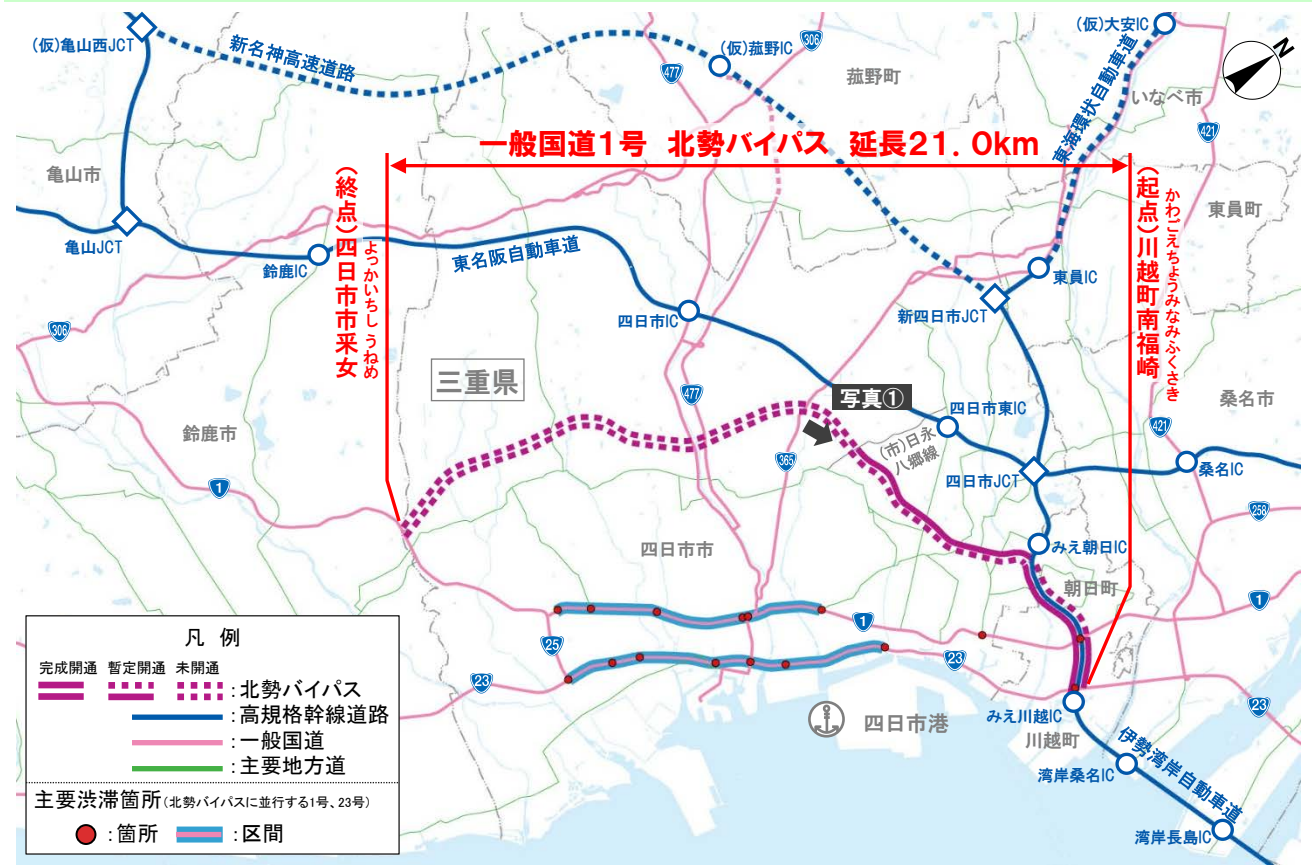
1. 一般国道1号北勢バイパスの事業概要

(1) 事業目的

一般国道1号北勢バイパスは、三重県三重郡川越町南福崎から四日市市采女に至る延長21.0kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、地域経済活性化の支援、災害に強い道路機能の確保を目的に計画された道路です。

並行する現道国道1号、国道23号には、主要渋滞区間(2区間)や、南海トラフによる巨大地震発生時に津波浸水が予測される区間が存在するなどの課題があり、本事業は、課題解決のために別線バイパスを整備することで、交通の円滑化、災害に強い道路機能の確保等の効果を見込んでいます。

北 勢 バ イ パ ス の 全 体 位 置 図



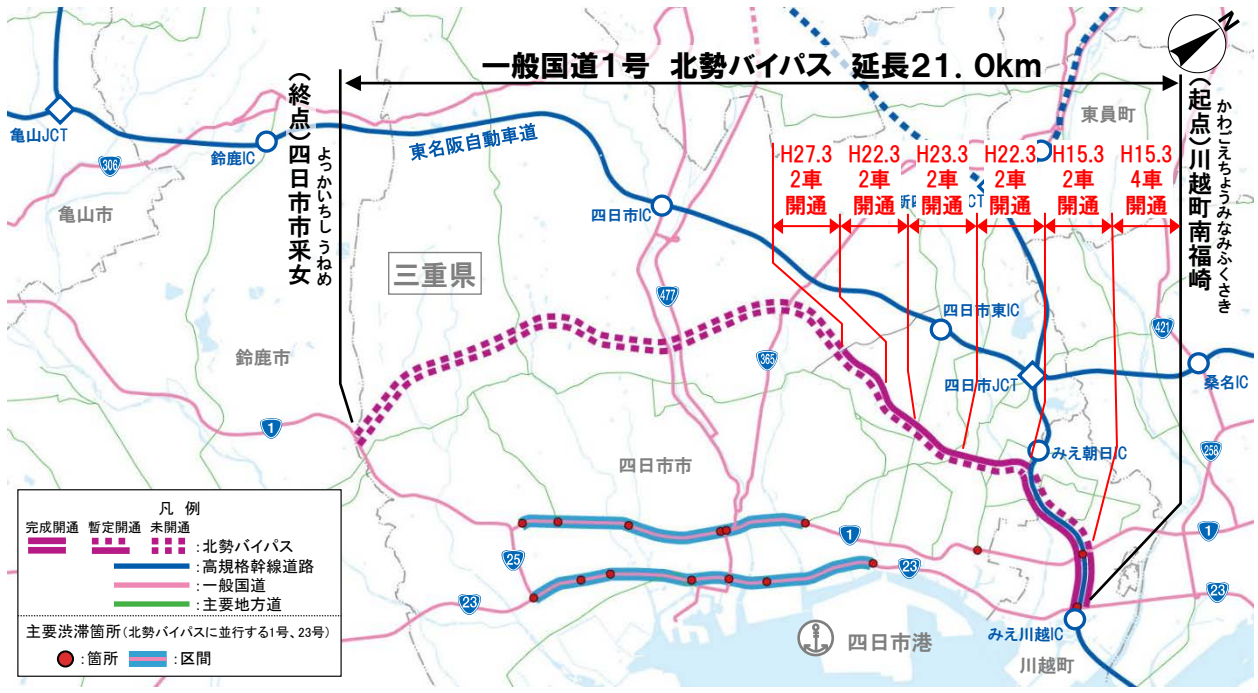
(平成28年 7月撮影)

1. 一般国道1号北勢バイパスの事業概要

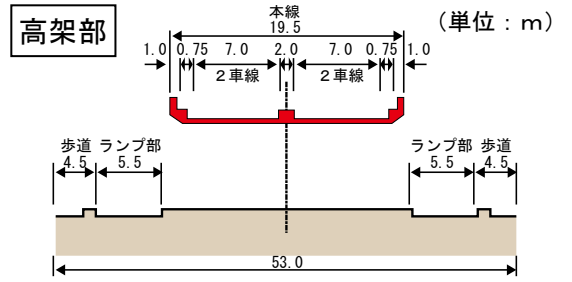
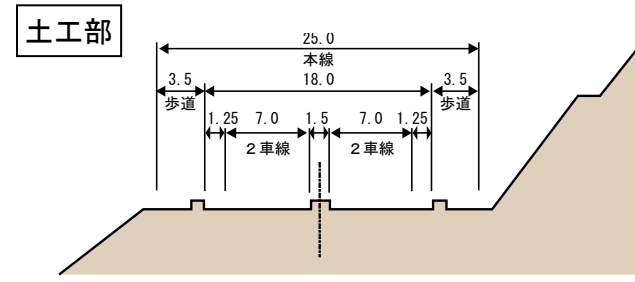
(2) 計画概要

北勢バイパスは、平成4年度に事業化し、平成26年度迄に三重郡川越町南福崎から四日市市山之一色町間の8.5kmが暫定開通し、うち三重郡川越町南福崎から三重郡朝日町小向間の1.2kmが4車線で開通しています。

事業名	一般国道1号北勢バイパス
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
都市計画決定	平成2年度
事業化	平成4年度
用地着手年度	平成7年度
工事着手年度	平成11年度
延長 〔平成28年度末 供用延長〕	21.0km (1.2km完成4車線開通) (7.3km暫定2車線開通)
前回の再評価	平成26年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	1,300億円
B/C	2.9 (平成26再評価時)



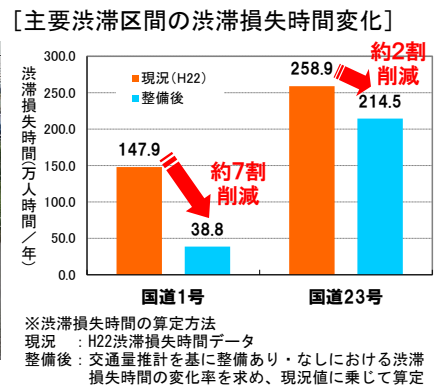
標準断面



2. 評価の視点【事業の必要性に関する視点】

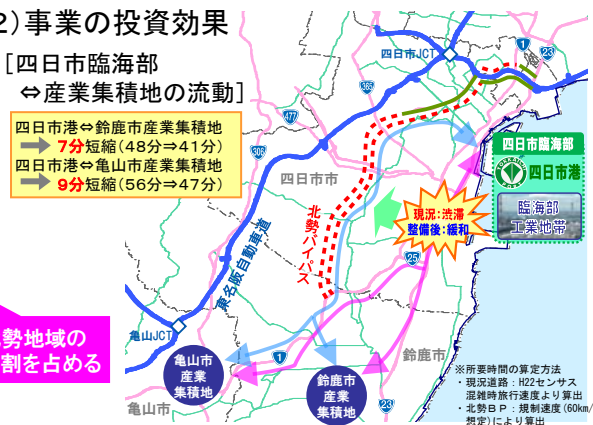
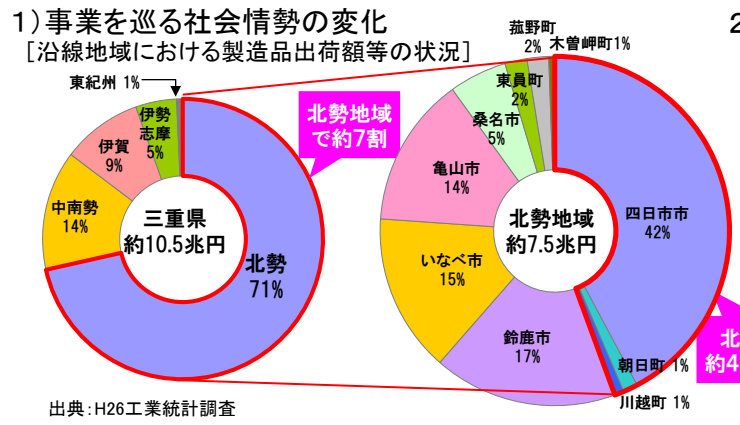
①交通渋滞の緩和

- 1) 事業を巡る社会情勢の変化
- 北勢バイパスに並行する国道1号・国道23号では、主要渋滞区間が2区間選定されており、依然として著しい渋滞が発生しています。
- 2) 事業の投資効果
- 北勢バイパスの整備により、並行する国道1号・国道23号の渋滞損失時間が減少し、渋滞緩和が期待されます。



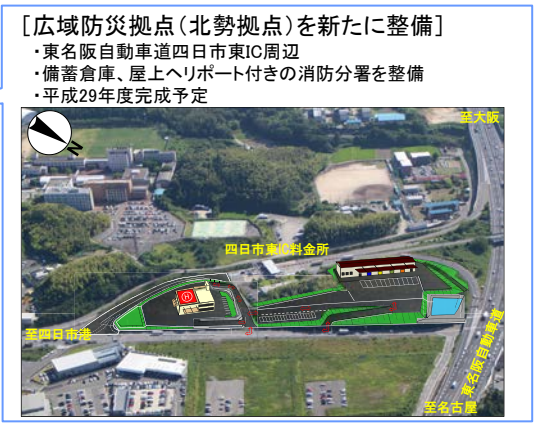
②地域経済活性化の支援

- 1) 事業を巡る社会情勢の変化
- 北勢地域の製造品出荷額等は三重県の約7割に相当し、この内、沿線の四日市市・朝日町・川越町で約4割を占めており、県経済を牽引する産業・物流の集積地となっています。
- 2) 事業の投資効果
- 北勢バイパスの整備により、円滑な物流が確保され、四日市臨海部工業地帯と県内集積産業との連携を高めるなど地域経済の活性化が期待されます。



③災害に強い道路機能の確保

- 1) 事業を巡る社会情勢の変化
- 南海トラフ巨大地震による津波浸水において、第一次緊急輸送道路に指定されている国道1号・23号で浸水被害が予測されています。
- 2) 事業の投資効果
- 北勢バイパスの整備により、第一次緊急輸送道路が拡充され、防災拠点間の連絡経路が確保されるとともに、北勢バイパスからの道路啓開ルートが形成され、災害時の減災化に寄与します。

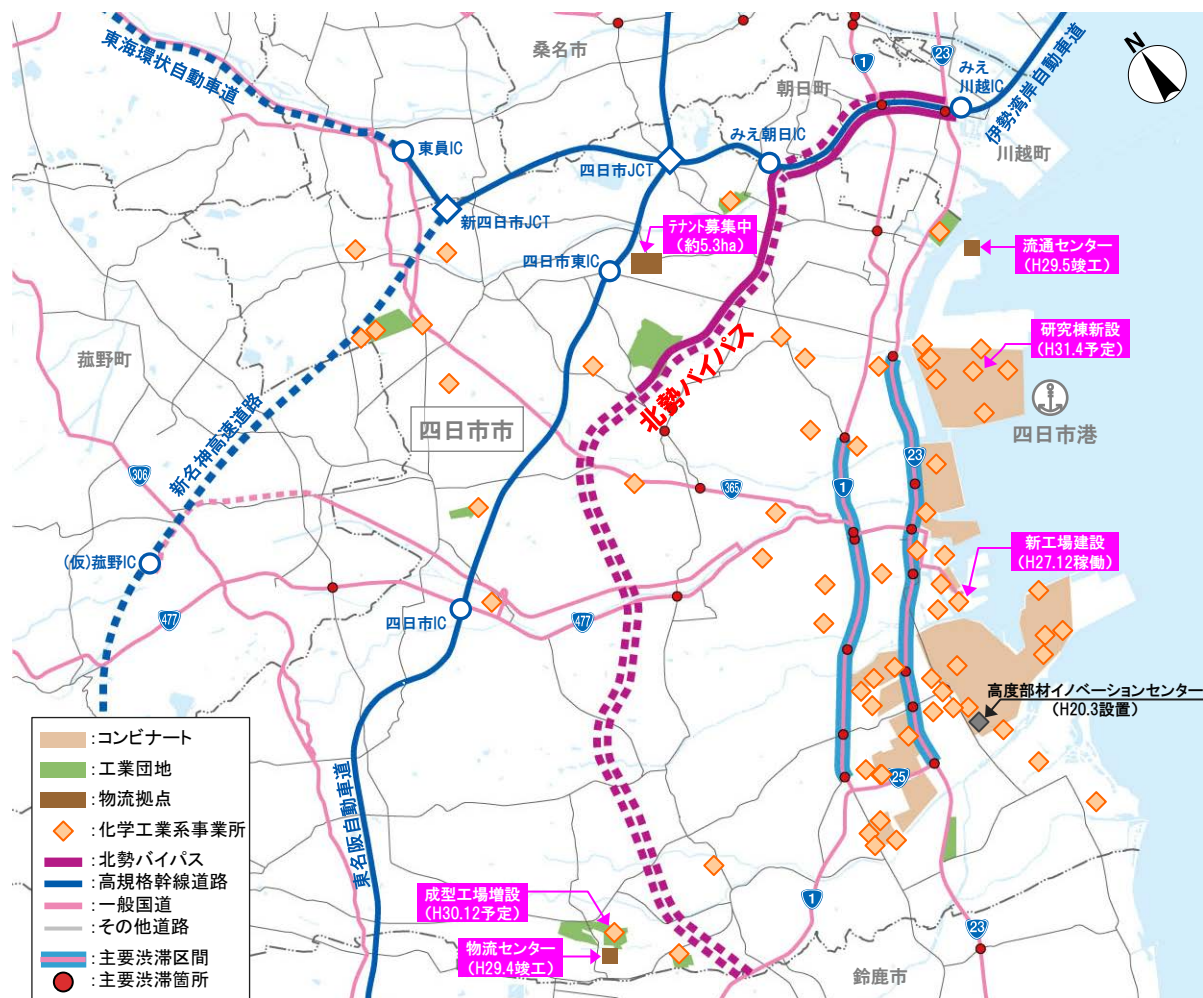


2. 評価の視点【事業の必要性に関する視点】

④ストック効果事例：地域企業の産業活動を支援

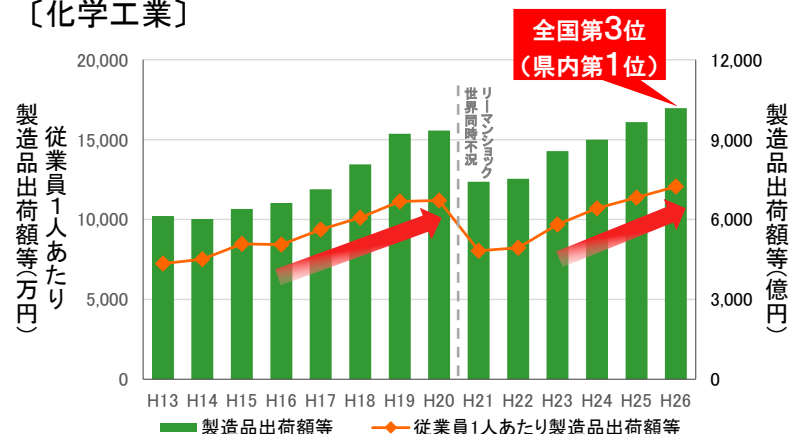
- 四日市市の化学工業は、従来の汎用品製造に加え高付加価値製品の研究開発・製造を推進しており、製造品出荷額等が持続的に増加しています。
- 国道1号、国道23号の主要渋滞区間沿線には化学工業の事業所が多く集積しており、原材料等の入荷物流に影響を及ぼしています。
- 北勢バイパスの整備により、四日市市を通過する交通等が現道からバイパス利用へ転換し、国道1号、国道23号の交通の円滑化が図られることで、沿線企業の物流効率化を支援します。

■事業沿線(四日市市)における企業立地状況



出典) 事業所：四日市商工会HP、工場・物流拠点の計画等：各企業の記者発表資料

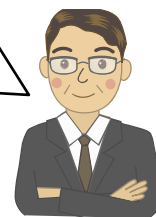
■四日市市の従業員1人あたりの製造品出荷額等の推移【化学工業】



■沿線企業の声

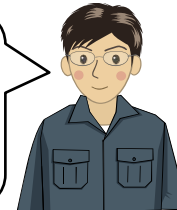
国内の主力生産拠点で、国内各地や海外へ製品を出荷しています。名古屋方面から原材料、四日市港から石炭を陸上輸送しているため、**資材の搬入において国道23号の渋滞の影響**を感じています。国道23号の渋滞が解消されれば、**搬入時の運行回転率の向上や物流コストの低減に繋がるのではと期待**しています。

※企業ヒアリングより(メーカーA社)



臨海部の企業間のピストン輸送において、渋滞区間に40~50分要しています。渋滞で搬送が間に合わない場合は追加車両を配車するため、北勢バイパスの全線開通による**国道1号、国道23号の交通の分散効果に期待**しています。

※企業ヒアリングより(運送業者B社、C社)



3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は65%、用地取得率は82%に至っています。(平成28年度末)
(参考) 前回評価時 : 事業進捗率は61%、用地取得率は82%(平成25年度末)

2) 事業の進捗の見込みの視点

- 四日市市垂坂町から四日市市山之一色町(延長1.4km)は平成27年3月7日開通しています。
- 四日市市山之一色町から四日市市曾井町(延長4.1km)については、早期開通に向けて用地取得および工事を推進します。
- 四日市市曾井町から四日市市采女(延長8.4km)については、調査設計を推進します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■ 三重県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。

本事業は、国道1号、国道23号の交通渋滞の緩和や災害時の代替路としての機能の確保、さらには地域経済活性化の支援を図るための重要なバイパス事業です。

今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、早期全線完成に向けた事業の推進、開通見通しの早期公表をお願いいたします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道1号北勢バイパスの事業を継続する。